

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 03 月 30 日作成)

委員会名	ブロック塀新構工法開発小委員会	主 査 名：川上勝弥
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会(組積工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003年04月 ~ 2007年03月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>ブロック塀は、建築基準法にその最低限の基準が示されているが、設計、施工及び耐久性等の観点から多くの問題が指摘されている。当小委員会では、現行基準を尊重しつつそれに拘束されることなく、デザインされた町並みに調和し安全かつ安心なブロック塀に関する新しい構工法について検討する。</p> <p>初年度は、建築基準法、建築学会・ブロック塀設計規準及び JASS 7等の規定類並びに既往の研究論文を概観し、規定及び現状の問題点について分析する。また、近年採用されている新しい構工法について、検討する。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	川上勝弥(主査・小山工業高等専門学校) 三田紀行(幹事・職業能力開発総合大学校) 石井克侑(社・全国建築コンクリートブロック工業会) 井上俊夫(社・日本建築ブロックエクステリア工事業協会) 岡本公夫(生活価値創造住宅開発研究組合) 阪上進也(STEP 工法開発機構) 千歩修(北海道大学) 根井浩(科学技術振興機構) 西山光昭(日本工業大学) 松村晃(神奈川大学) 中岡章郎(長谷工コーポレーション) 長谷川直司(国土技術政策総合研究所)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会の開催日時及び出席人数は、次の通である。ただし、()内の分母は、委員の総数である。 2003/5/16(9/10名)、 2003/7/25(7/11名)、 2003/10/10(8/11名)、 2003/11/21(9/11名)、 2004/1/30(9/11名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>成果の内容： ブロック塀の部位毎に[基準及び現状/問題点/改善提案]をまとめた。基準及び現状の分析により、基準と施工技術、縦筋のカギかけ、フェンス及びかさ木の固定等の問題点を確認した。この成果は、次年度以降の活動のベースとなるものである。</p> <p>ホームページ等での公開の有無： 本年度は、小委員会活動の初年度として、委員会活動の枠組みの作成を行ったものであり、ホームページ等でその成果を公開しない。</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 本年度は、設置期間(4年間)の初年度であり、その成果はほぼ当初の予定通りである。本年度の成果は、次年度以降の小委員会活動の基礎的資料となる。
その他評価すべき事項	本年度において発生した宮城県北部連続地震及び台風 14 号等の自然災害によるブロック塀の被害状況について、関係機関と連携し調査を行った。自然災害に対する迅速な対応は、委員の平素の活動によるものと評価される。